

広東省および主要都市の経済概況（2025年）

更新日 2026年5月

JETRO



【地理・歴史】大陸部最南端に位置。福建省、江西省、湖南省、広西チワン族自治区、香港・マカオと隣接。省内を流れる珠江の河口周辺部は珠江デルタと呼ばれ、広州市、深圳市、東莞市など9市からなる経済の中心地。方言話者が多く、広東語4,000万人、閩南語1,700万人、客家語1,500万人。広東出身の華僑・華人は3,000万人以上で全国の半数を占める。

【経済・産業】1980年に深圳市・珠海市・汕頭市が経済特区に指定、香港資本の誘致を中心に対外開放が進んだ。深圳市・東莞市では香港を活用した広東式の加工貿易（原材料を保税輸入し加工品を輸出）が発展。多くの外資系企業が進出し電子・電機産業が集積。中でも深圳市は中国最大の電子・電機が集積地に。2000年代は「転型昇級」と呼ばれる産業構造転換・高度化を図り、加工貿易が柱の輸出型経済から、高付加価値・ハイテク産業やサービス産業への転換を推進。深圳市は「山寨（模倣品）」の街を経てハードウェアへと転換し、現在はAI・ロボットの中心地に。広州市周辺は日系を中心に自動車産業が集積、中国有数の完成車生産拠点となっている。

【その他】2015年には広州南沙新区、深圳前海新区、珠海横琴新区に中国（広東）自由貿易試験区が設置。「粤港澳大湾区」計画により広東省・香港・マカオの関係強化をめざし、三地域を繋ぐ「港珠澳大橋」や広州市～香港の高速鉄道や、深セン市～中山市を結ぶ「深中通道」高速道路の開通などインフラ整備が進む。

【日系企業】珠江デルタ中心に自動車、電子・電機、小売・飲食、化学品、機械など約1,600社。

2025年	単位	広東省	対前年増減	全国に占める広東省の割合	広州市	対前年増減	広東省に占める広州市の割合	深圳市	対前年増減	広東省に占める深圳市の割合
①面積	万km ²	18.0	-	1.9%	0.7	-	4.1%	0.2	-	1.1%
②常住人口	万人	12,859	0.6%	9.2%	1,910	0.6%	14.9%	-	-	-
③GRP	億元	145,847	3.9%	10.4%	32,039	4.0%	22.0%	38,732	5.5%	26.6%
うち第1次産業	億元	5,892	4.5%	6.3%	317	3.3%	5.4%	28	△4.5%	0.5%
うち第2次産業	億元	54,994	2.4%	11.0%	7,710	1.6%	14.0%	14,483	4.1%	26.3%
うち第3次産業	億元	84,961	4.7%	10.5%	24,012	4.8%	28.3%	24,221	6.3%	28.5%
④固定資産投資	億元	-	△17.3%	-	-	△6.7%	-	-	△21.7%	-
⑤社会消費品小売総額	億元	46,297	2.8%	9.2%	11,032	5.5%	23.8%	10,260	2.3%	22.2%
⑥都市住民一人当たり可処分所得	元/年	63,974	3.8%	-	86,069	3.2%	-	-	-	-
⑦貿易額	億元	94,942	4.4%	20.9%	12,407	10.4%	13.1%	45,534	1.4%	48.0%
うち輸出	億元	60,349	2.5%	22.4%	8,257	17.8%	13.7%	27,388	△2.6%	45.4%
うち輸入	億元	34,593	7.8%	18.7%	4,151	△1.9%	12.0%	18,146	8.0%	52.5%
⑧対内直接投資額(実行ベース)	億元	1,127	11.3%	15.1%	252	9.1%	22.4%	505	14.4%	44.8%